

平成20年 3月11日

お知らせ

資料提供

三次記者クラブ

安芸高田市吉田地区河川環境技術検討会の開催について

三次河川国道事務所では、自然再生事業（レキ河原の再生）を実施し、地域固有の河川生物の生息・生息基盤の再生を図っています。

このたび、河川環境に関する専門家並びに地域団体関係者から構成される「安芸高田市吉田地区河川環境技術検討会」を開催し、モニタリング、事業計画等について助言を頂きたいと考えております。

■審議事項

- ・平成19年度モニタリング調査結果概要について
- ・平成20年度事業計画（案）及びモニタリング調査計画（案）について

■検討会の委員について

- ・別紙のとおり

■取材についてのお願い

- ・撮影は会長挨拶までの頭撮りが出来ます。

■日時 平成20年3月13日（木） 14：00～17：00（予定）

14時から現地を視察し、15時30分頃から検討会を開催する予定です。

■場所 安芸高田市役所横 クリスタルアージュ2階 201研修室

問い合わせ先

○国土交通省 三次河川国道事務所

副所長

横尾 和久

建設監督官

大賀 祥一

TEL (0824) 63-4121 (代表)

別紙－1

委 員	うらと 裏戸	つとむ 勉	松江工業高等専門学校名誉教授
委 員	うるしだに 漆谷	こうめい 光名	日本鳥類保護連盟 専門委員
委 員	くちわ 口羽	ひでのり 秀典	環境NPO江の川鮭の会理事長
委 員	こだま 児玉	こうたろう 更太郎	安芸高田市長
委 員	しのはら 篠原	きだお 貞生	可愛川漁業協同組合長
委 員	つじこま 辻駒	けんじ 健二	江の川漁業協同組合長
委 員	まつうら 松浦	ひろゆき 博幸	広島自然観察会 江の川河川環境保全モニター
委 員	むらかみ 村上	やすよし 恭祥	元広島県水産試験場長
委 員	しまだ 島田	じゅんじ 淳次	国土交通省 三次河川国道事務所長

※敬称略 五十音順

「江の川」 レキ河原の再生

～ むかし、遊んだあの河原の再生を目指して～

昭和40年以前の江の川



レキ河原の再生により、江の川本来の動植物の生息・生育環境の保全を行っています

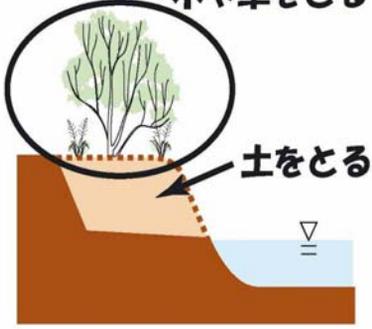
現在の江の川



どうして変わってきたの？ ～変わってしまった理由～

- ・生活を守るためダムを作った →大雨でも水が増えない
- ・生活を守るために川幅を広げた →大雨でも水が増えない
- ・肥料として植物を取らなくなった →植物がさらに増えた

木や草をとる



土をとる

レキ河原がなくなると、どうなるの？

- ・レキ河原が少なくなり、元の川らしい自然・風景がなくなる
- ・外来のセイタカアワダチソウや樹木など、陸地の植物が増え水辺の環境を大きく変えてしまう
- ・大雨が降って大水になったときに川の中を水が流れにくくなって危険になります

どうやって、レキ河原にするの？

- ・増えすぎた草木をとり除く
- ・高くなってしまった所を削り、毎年大雨で水が流れるようにする
- ・大水で自然に草木が生えにくくなるようにする

河原などに住む、イカルチドリ、オキナグサなどが住めるレキ河原の再生を目指しています

オキナグサ



イカルチドリ

